

令和7年度第2回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和7年11月26日（水） 午前10時～11時15分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

（1）委員（9名）

鈴木恵子委員、渡邊康二委員、堀合範子委員、黒須修一委員、内村悦子委員、高野橋加子委員、熊谷恵委員、坂本知彌委員、菅原元委員、

（2）事務局（6名）

菅野生涯学習部長、鈴木花巻図書館長、伊藤大迫図書館長、辻村石鳥谷図書館長、伊藤東和図書館長、高橋花巻図書館副館長、八重樫花巻図書館業務係長

4 欠席者

2名（中里美香委員、佐藤三恵子委員）

5 傍聴人

なし

6 議題等（議事録）

◎会議成立の報告（高橋花巻図書館副館長）

- ・委員11名のうち9名出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えていたため、花巻市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。

1 開会（高橋花巻図書館副館長）

2 あいさつ（坂本会長）

皆様、おはようございます。

雨にもクマにもインフルにも負けず、お集まりいただきましてありがとうございます。今日は新図書館について、プロポーザル方式による選考の結果についてのお話もいただけますと聞いております。わくわくしております。

皆様のご忌憚のない意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

3 議題（図書館協議会規則第6条により、会長が議長となる）

（1）令和7年度花巻市立図書館事業実施状況について

・令和7年度花巻市立図書館事業実施状況について各館から順に説明。

花巻：八重樫業務係長、大迫：伊藤館長、石鳥谷：辻村館長、
東和：伊藤館長

（質疑）

（○坂本会長）

4館から説明いただきましたがご質問ございませんか。

どこの館もいろんなことを企画して頑張っているなと思いました。

はい、高野橋委員さん。

（○高野橋委員）

花巻図書館さんにお伺いしたいです。春のリサイクル雑誌フェアは、今回初めてということで、この参加人数は想定した人数だったんでしょうか。それとも、思ったより多かったという感じだったんでしょうか。

（○鈴木花巻図書館長）

お答えします。来場者は238人でしたが、私2日間、実際にこの部屋で来館者の対応をさせてもらいました、大変たくさんの方に来ていただいたなという実感はありました。朝の時間帯にたくさんいらっしゃいました、日中は落ち着く時間もありましたけども、期待した以上の方に来ていただけたのかなと感じております。この企画ですが、20種類から30種類ぐらいの雑誌を、これまで5年間保存したのちに廃棄していましたが、捨てないで利用者に持って帰っていただくということで、リサイクルというか正確にはリユースするというものです。2日間でしたが、いろんな種類の雑誌がございますので、同じ種類のものを一度出してしまって、土曜日に来た方はもらえたけど日曜日の方はもらえないということが起きるのかなと考えまして、半分に分けたりしてですね、できるだけ多くの方に持てていただけるように考えました。持ち帰りいただくルールとして、雑誌1種類について、5冊までとお願いしましたが、残ったの

は100冊程度でした。

大迫、石鳥谷、東和では、いろんな形でリサイクルをやっていますが、花巻では数が多い上にスペースが狭いという理由で今までやっておりませんでしたが、ご要望もありますので、まずは雑誌から始めてみようという考え方で行いました。とても良かったという意見をいただいておりますので、来年度も続けていきたいと思っております。

(○高野橋委員)

私も参加させていただいて、すいません5冊いただいて行きましたけど、家庭画報とかちょっとお高い雑誌なんかもありましたので、すごくいいなと思いました。ただ、箱にただ平積みでボンと入っている感じなので、利用者、見る人もちょっと雑に扱うので、だんだんボロボロになってくるのがちょっとかなと思ったので、もしよければ来年そのあたりを考えていただければと思います。ありがとうございます。

(○坂本会長)

ありがとうございます。他にはございませんか。

はい、どうぞ。

(○渡邊委員)

今のお話に関連してなんですが、私、今年度八戸市で開かれた、雑誌のリサイクルとあわせて、八戸市内の学校図書館の廃棄予定の本を一堂に教育委員会さんが集めて、訪れた方々に無償配布するという形のブックフェスに行ってきました。会場も本当にもう八戸市の中心街の大通りを歩行者天国にしてやるような大規模なものだったので、すごくいい企画だなとは思っていましたので、先ほどの各図書館の事業報告でも無償提供というものもあったので、こういったものはそれぞれ単独でやるのも構わないのですが、一堂に会して、廃棄用の図書館の図書であるとか、あと学校サイドからしてもやっぱり廃棄図書というのは非常に扱いに困るものなんです。物語については古くなてもいいものはいいのですが、どうしても情報の新しくなったものについては変えていかなきやならない。そういう変えていかなきやならない古い情報の本であっても、やっぱり昔を懐かしんで手に取って持ち帰る方もいらっしゃったようなので、そういう企画なんかもぜひいいのではないかなと思っていますし、学校サイドとしても教育委員会の方で主導してくれて、そういう廃棄図書を集めっていう形のものをやっていただけると非常にありがたいなと思ったところでした。

(○坂本会長)

はい、館長お願いします。

(○鈴木花巻図書館長)

ご意見ありがとうございます。

それぞれの図書館でリユースの企画をやっておりますけれども、今おっしゃっていただいたように、人が集まるところにこちらから持っていくというやり方も、確かにおっしゃっていただいた通りでありなのかなというふうに感じました。ただどうしても私たちは図書館に来てもらうきっかけを作りたいという気持ちもありますので、何かそこら辺の工夫をしてですね、まったく私の今の思いつきですが、例えば移動図書館車がリユース本を持って行って、配布を行うとか。そうすると移動図書館車で本借りていただくとか、図書館にも来てくださいねっていうきっかけを作ることができますので、例えばそういった工夫をしてこれまでとは違う方法っていうのもちょっと検討はしてみたいと思います。ご意見ありがとうございます。

(○熊谷委員)

東和図書館の方にお伺いします。古本市をやっておりますよね。

もうこれ何年なります。相当になりますよね。何十年ですよね。

(○伊藤東和図書館長)

申し訳ありません。結いの会が主催でして、結いの会は東和図書館が開館してからずっと関わっていただいてますので、そうですね多分20年近くはやっているのではないかと思います。

(○熊谷委員)

今、無料で持ってていただくというお話を伺って思ったのは、結いの会では、例えば1冊10円とか100円とかっていうお金を出して本を選んでいただくという形にしてるはずですよね。結構その金額大きいですよね。結いの会の主催だからちょっと図書館さんではないのでちょっと申し訳ないんですけど。そこから図書館に寄贈しますよね。確か本を。

(○伊藤東和図書館長)

はいそうです。今年も7万円分の図書を寄贈していただきました。

(○熊谷委員)

確かに、いらないものを処分するために、皆さんに持ってって言うのもいいんですけども、公共施設では1冊いくらってお金を取りるのは難しいことなのかなと思いますが、東和の場合は古本市をずっと長くやっていて、1冊100円とか10円とかっていうので、結構本当にこの頃は、朝早く行かないとなってしまう。特に子供の絵本がなくなる。ていうような話を聞いております。

そういうようにいくらかでも出して、また新しい図書が買える。それが、図書館に寄贈されるっていうこの流れって、私は本当はすごく好きなので、ちょっと皆さんも、図書館主催ではそれは無理かもしれないで、何かの団体をお作りになるとかっていうやり方もいいのかななんてちょっとと思いました。

(○鈴木花巻図書館長)

ありがとうございます。本当に結いの会さんには大変にご協力をいただいております。結いの会の皆さんはご自分たちで本を集められて、集めた本を売ってらっしゃるということで、本当の古本市という形でやっていただいております。なので、東和図書館の本を売っているわけではないということだけ、改めてご認識いただきたいと思います。図書館が市の予算で買った本を販売することはできませんので、それに関しては本当に前にから申し上げているつもりですけども、ボロボロになってしまって使うにはちょっと難しいよなっていう本は、資源回収という形で若干のお金に変えていいますし、そうじゃない本はできるだけリユースをしていくのがいいと思いますが、花巻図書館ではまだあまりできていませんので、先ほどのご意見も踏まえながら検討していきたいと思います。ありがとうございます。

(○坂本会長)

いろいろ意見が出ました。どうぞご一考いただければと思います。

黒須委員どうぞ。

(○黒須委員)

黒須です。よろしくお願ひします。

一点お聞きしたいんですけど。事業を開催するにあたって日付の選定ってどういう形でやってるんですかね。というのは、今のいろんな方のお話を聞きっていて、自分はイベントというか事業って2種類あると思っていて、1つが、例えば映画であったりとか何かをするような、ここで集客を取ってしまうような事業と、もう1つは、企画展示であったりとか、古本を配ったりであるとか、いわゆる図書館に来るきっかけを作ってもらう、足を運んでもらえればいい。そこをきっかけに次も来てもらうとかいう感覚ができるので、これ2種類ちょっと実は違うのかなと僕は思っていて。そのきっかけをつかむのであれば、例えばその選定が、しっかり日付はこれしかないっていうんであれば別なんですけど、例えばここの文化会館で何かイベントをやっているタイミングで、それに合わせて企画展示をするとか、図書館でこういうことやってますみたいな集客の仕方ってありじゃないかなと僕は思っていて。例えば映画みたいなやつにしてしまうと、こっちで事業やってるのにこっち取りに来るわけには

ちょっとやりづらいのかなと思うんですけど、例えば寄ってもらうとかっていう話であれば、石鳥谷さんであれば、例えば酒蔵とか何かいろいろなタイミングとかそういうので帰りに寄ってみませんかみたいなアプローチも可能なのかなと思っているので。花巻青年会議所でいえば、わんこそば大会だったりとか、あそこに子供たちも大人も来るんであれば、帰りよってみませんか、みたいなアプローチもあってもいいのかな。日付によってはできるものできないものがあるかと思うんですけど、そういうのもありなのかなと思ってて。なんかそれがきっちり決まってないとか、もしくは企画展示でもっとアプローチができるならば、そういう宣伝の方法とかもあっても、自分は面白いのかな。せっかくお互いがいろんなところで助け合った方はよくなると思うので、もし検討ができるれば面白いかと思います。よろしくお願ひします。

(○坂本会長)

連携についてのご意見です。館長お願ひします。

(○鈴木花巻図書館長)

ご意見ありがとうございます。おっしゃる通りだなと今お伺いして感じております。現状はそういったことを全部踏まえながらのイベント日程の設定というところまではできていません。文化会館との連携だとしてもきっちりと細かくまではできていない状況です。先ほどぎんどう日和というイベントがでてまいりました。お話会を開催したというので、もじもじクラブさんの協力をいただいてやっているんですけど。あれは、花西コミュニティさんが文化会館を会場にしてやるイベントにお声がけをいただいて、その賑わいのあるところに移動図書館車が100メートルほどですけども行ってやらせていただいたというものになります。そういった連携を、確かにおっしゃる通り、もっと考えながらやることで、図書館を知ってもらうきっかけを作る。来てもらうきっかけを作る。はい。おっしゃる通りだなと思いますので、どうしても図書館の1年間のスケジュールを組む上で、この日程で開催したいという場合もありますけども、変動できるものに関しては、今後、他のイベントに対してアンテナを張りながら合わせていくということを検討したいと思います。ありがとうございます。

(○坂本会長)

はい、いろいろご意見を頂戴しました。他にはございませんでしょうか。

(○堀合委員)

堀合と申します。東和図書館さんの施設見学のところで、他の図書館さんは学区の小学生が見学しているわけですが、ここに笹一小さん、今日校長先生い

らしてますけれども、南城小さんが来ておりますが、小学校は学区外は自分1人では行動できないっていうか、いけないんじゃないかなと思いますが、それは学校さんで希望したんでしょうか。それとも、受け入れの関係で図書館で割り振りをしたんでしょうか。学区内の図書館であれば中学生になったときも利用できるという感じがして、ちょっと意外だなと思いましてお聞きしているところです。

(○伊藤東和図書館長)

そうですね。小学校さんの方からのオファーがありまして、実は南城小学校さんとか笛間第一小学校さんなんですが、バスまたは電車を利用した行程を組まれてるようでして、うちの図書館を見学した後に、例えば宮沢賢治童話村だとかですね、そちらの方を経由していくという関係でうちの図書館を選んでいただいたという形になっております。

(○堀合委員)

はい、わかりました。他も見学しながらというその一環でということで。わかりました。

(○坂本会長)

ほかにございませんか。

(○堀合委員)

堀合です。たまたま私のテーブルの上に飲食禁止、フタができる容器に入った飲み物は持ち込み可能とあります。飲み物はいいということですが、例えば調べ物が多くて、ちょっと午後までかかりそうだと、サンドイッチぐらい食べたいっていうときに、そういうことができる部屋というのはあるんでしょうか。

(○鈴木花巻図書館長)

はい。お答えさせていただきます。現状はございません。なので、朝、新聞を読みに来て、何か他にも本を読まれて、ゆっくり過ごしていただいている利用者の方もいらっしゃるんですが、そういった方が車に行っておにぎりを頬張ってらっしゃるようなところは気になっているところですので、どこか、ここでは食べてもいいですよというような場所を作りたいなという思いは、私ここに来たときからずっとあります。ただ現時点では、ここに書いてありますようにフタができるペットボトルですとか、そういったフタができる飲み物であれば飲んでも構いませんよと、1階に関してはですね、ここ会議室と隣の学習室はいいことにしておりますが、2階に関してはそれもご遠慮いただいています。

ただ、これから新しい図書館の話が出てまいりますが、全国的に、言葉がち

よつと正しいかわかりませんが、昔ながらの図書館というか、お話はしないでくださいとか飲食は一切禁止ですよという図書館から、今どんどん違うもっと自由にお話もできるし、なんなら音楽がかかっているような図書館もあるという風に、時代の流れが変わってきていますので、まだ具体的な話はこれからですけれども、新しい図書館になった時点では確実にそういうことが考慮されて、もう少し皆さんそういう要望に応えられる形になるのかなと感じてはおります。今の図書館でそれをどう検討しようかと思ったときに、例えば隣の学習室は机があって、仕切りがあって、勉強や調べものにご利用いただくのがいいと思いますが、ここの部屋は、今日のような時にはこうやって会議に使いますし、そうじゃない日はテーブルを学校形式に並べて、勉強なり自由に使っていただいているので、例えばこの部屋をですね、グループ学習していいですよとか、お話していいですよとか、ちょっとした食べ物を食べるのは構いませんよというふうにできないのかなということは私はずっと考えてはおりますが、なかなかその管理の上でゴミが出たらどうするんだとか、ゴミが出てもゴミは別にゴミ箱があるんですけども、その度合いですとかそういったところで、なかなか検討が進んでいない状況ですので、今のところは、この図書館に関してはこのままいくのかなというふうには思いはありますが、あの今言ったようなご意見ですかあと利用者の方からのご意見ですか、そういうったところをもうちょっと見ながらお聞きしながら、考えることもありだと思っております。

(○坂本会長)

新しい図書館を待ちたいと思います。

はい。それでは議題の2つ目、その他に移りたいと思います。

(2) その他

(○坂本会長)

ございますでしょうか。部長さんお願いします。

(○菅野生涯学習部長)

私の方から新花巻図書館について今日お配りした資料に基づいてお話させていただきます。新花巻図書館ですが、基本設計と実施設計の事業者を選定するために、今回はプロポーザル方式ということで作業を進めておりましたが、この度、優先交渉権者が決定いたしましたのでご報告いたします。資料の1に第二次審査と書いてございますけれども、第一次審査がありまして、6者が通過しております、その方たちを対象に11月24日に公開プレゼンテーションと

ということで、その6者からこんな図書館を考えていますという内容のプレゼンテーションをしていただいて、それに基づいて選定委員の先生方と質疑応答して、というところを公開して行ってございます。市でも多分初めてで、私達もどのくらいの方に集まっていたらいいのかなと思っておりましたが、延べ188名と書いてございますけれども、午前からお昼を挟んで夕方までの長丁場で、出入り自由でしたので、それに合わせてのカウントの数になりますけれども、最初始まった時は80数人くらい傍聴の方がいたと思っております。そのプレゼンテーションと選考委員とのやり取りを公開でやりまして、その後、選考委員の先生方だけで審査を行いました。最優秀者ということで昭和設計・tデ・山田紗子建築設計事務所共同事業体、3者の共同事業体になりますけれども、それぞれは東京、仙台ということになりますが、共同事業体としては仙台の業者ということになります。この方が優先交渉権者ということになります。あくまで優先交渉権者ということで、市と契約の手続きを進めていきまして、整えばこの事業者と契約ということになります。正式な契約は年明けの1月を予定してございます。なお審査の詳細につきましては、12月3日にホームページで公開させていただきます。また、当日撮影したものをYouTubeで公開することにしておりますが、こちらは編集してからお見せするということで編集が終了次第公開したいと思っております。今日はあくまで事業者さんがここに決まったということのご報告とさせていただきます。今後、1月に契約をして、その後準備を整えながら、基本設計、実施設計は1年半くらいかかる予定になっておりますので、着々と進んではいますが、まだまだ時間はかかるということでご了解いただきたいと思います。

めくっていただきまして、別紙にこれまでの経過を書いてございます。実施日程についてはこの通りですが、2番のところに選定委員の先生方をご紹介させていただいております。委員長は横浜国立大学大学院の乾先生、副委員長の吉成さんはいわてこどもの森が、一戸町にできたときの最初の館長さんで、東山町の賢治と石のミュージアムにも関わっていただいている。岩手に移住してきて、今は岐阜の方にお住まいになっていますが、ご存知の方も多いかと思います。もう一人の小野田先生は東北大学の先生です。日本建築学会の会長さんもされているという方でございます。その下の竹内先生は紫波のオガールを作るときにも関わっていただいている先生です。その下の早川先生は富士大学の先生ですけれども、新図書館の基本計画にも携わって、いろいろご指導いただいている先生となります。錚々たるメンバーに審査していただけるということで、業者さんたちも、名前を知ってる先生方ということで、第1回選定委員会

では 61 者に応募いただき、二次審査に向かったのは 6 者ということになります。あとは資料を読んでいただきたいと思いますけれども、開館の予定が今のところ令和 12 年中ということで、今後また皆さんのご意見をお聞きしながら、設計を進めていきたいと思いますので、その都度ご報告させていただきますのでよろしくお願ひいたします。報告については以上となります。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。これについてのご質問はございませんか。

令和 12 年っていうのは長いような、待ち遠しいような気がするんですけど、今までのいろんなことを考えると、もう着々と進むだけなんだなっていうふうには思うので楽しみです。

他にはございませんでしょうか。それでは館長お願いします。

(○鈴木花巻図書館長)

ご報告になりますけれども、私の方から何点かお伝えさせていただきます。

9 月 23 日から 10 月 1 日まで、図書館情報システムの更新を行っております。富士通の図書館システムを市内 4 館で利用しておりますが、システム端末の更新を行いまして、9 月 23 から 10 月 1 日まで休館いたしました。現在は、蔵書点検のための休館ということで、今年度は 2 度の長い休館をして利用者の方々にはご迷惑をおかけしているところではありますが、今申し上げた 9 月 23 日からのシステム更新というのはリース端末の更新手続きでして、5 年に一度どうしても必要な作業になりますので休館をしたところでございます。

続きまして、両面のチラシをお配りさせていただいております。別々に館内に貼ってあるものですが、まずピンク色の方、シーナシーナ花巻に返却ポストを設置していますと書いてあります。2 月までイトーヨーカドー花巻店 2 階のサービスカウンターの前に返却ポストを設置しておりましたが、閉店後、設置をどうしたらいいかということでなかなか進め進められずにおりましたが、10 月 2 日から設置いたしました。場所は前回とは違いまして、1 階の元岩手銀行があったところの入り口を入ってすぐ左側にございます。設置に至りましたのは、9 月にシーナシーナ花巻の方から、お客様から図書館の返却ポストを設置してほしいという意見があったので、置いてもらえますか、というお電話をいただいたことがきっかけです。10 月約 1 ヶ月で 137 冊の返却がありました。イトーヨーカドーの頃は、1 ヶ月平均で大体 450 冊ぐらいの返却がありましたので、そうなってくると日によってあふれるということが起きてくるんですけども、シーナシーナさんの方から協力しますと言つていただきまして、設置に至ったという状況でございます。

次に裏面の青っぽい方のチラシをご覧ください。これは利用者アンケートなどでもご要望をいただいていたものですが、予約冊数を3冊から5冊に増やしました。これまで3冊までしか予約ができなかつたものを5冊に増やすということで、予約本を確保すると、当然置く場所が必要になりますし、一番スペースに余裕がないのは花巻図書館になりますけども、そういう場所の確保をやっと進めることができまして、これも10月2日から変更しております。

またそれに伴いまして、半分から下に書いてありますが、これまで予約本が確保できた際の連絡方法として連絡不要という選択肢がありました。お客様に自分で気づいていたり取りに来ていただくというのですが、そうなるとなかなか取りに来られない方も中にはいらっしゃいますし、置いておくためのスペースがたくさん必要になってくるということで、どうしても取りに行けないというご連絡いただければ、何日か待ちますということはしますけども、5冊まで予約することができるようになりましたので、これからは基本的に、受取期間を1週間として、期限内にいらっしゃらなければ予約は解除させていただくこととしまして、併せて、連絡不要ではなくメール連絡や電話連絡をお願いするということで、このように進めております。

それから資料下の右側ですが、延滞資料のある方は、窓口での新規予約ができなくなります。元々、ウェブオーパックというインターネットでの図書館の蔵書予約をする際に、返却期限を過ぎている本があれば、それを返すまでは新たな予約ができないとなっていたんですが、窓口の方では、早く返してくださいねとお話をした上で、予約をお受けしておりました。それを変更しまして、延滞本がある方には、一律、新規予約はできないこととしまして、お返しいただいて次の方に早く回せるようにというふうな取り組みにしております。

それから、文化会館の方で受変電設備の更新などで、来年度4月から休館して工事を行うということで、もう既に現場事務所が設置されておりますが、図書館前の駐車場の半分より奥側10台分ですが、もうバリケードをしておりますが、地中に電線を通すために掘削する必要があるということで、来年の9月まで使用できなくなります。図書館前に停められない場合には、文化会館の大駐車場を利用していただくようお願いをしていきます。

また、花巻図書館のエアコンですが、昨年度も1台更新してるんですが、今年度もこれから4台ほどエアコンの更新をする予定になっております。全て20年ぐらい経ってるエアコンでして、いつ壊れてもおかしくないような状況ではあるんですが、全部更新することはできないので、可能な範囲で更新を行います。できるだけ休館しないでご迷惑かけないようにしたいとは思っております

が、詳細はこれからですので現在の状況ということでお知らせいたします。

あと、先ほど部長が申し上げたとおり、新しい図書館に向けた準備が進んできております。昨日も先ほどのプロポーザルの資料の方にありました岐阜のメディアコスモスのプロデューサーをされていた吉成先生に来ていただいて、ここで職員に企画展示に関するワークショップなどをやっていただきました。今まで自分たちが発想しなかったような、または思っていてもなかなかできかつたような展示の仕方とか、内容とかをお話しいただき、もっといろんなことができるんですよっていうことを研修させていただきました。あとは新館に向けて蔵書をどうしていくのかといった検討なども進めておりますし、そういう業務がいろいろ入ってきております。

4館全体でよい図書館になっていくよう進めていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

(○坂本会長)

その他はありませんでしょうか。では、事務局の方にお返しいたします。

4 その他

なし

5 閉会（高橋花巻図書館副館長）